

和歌山工業高等専門学校  
令和三年度入学式式辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

本日、ここに、ご来賓の皆様、保護者の皆様のご列席、あるいはご視聴をいただき、和歌山工業高等専門学校の令和三年度入学式を挙げていくことは、誠に嬉しい限りです。皆さんの入学を心より歓迎いたします。皆さんと共に学ぶことができることを、教職員・在校生一同、楽しみにしております。また、これまで入学生を支えてこられたご家族の皆様にも、ご子息・ご令嬢の入学を心からお祝い申し上げます。おめでとうございます。

和歌山高専は、一九六四年に設立されて以来、八〇〇〇人近くの卒業生・修了生を社会に送り出してまいりました。本校の卒業生・修了生の評価は非常に高く、その多くは企業や官公庁などで中心的な役割を担っております。国内だけでなく国際的な舞台で活躍する者や、専門分野の最先端の研究を続けている者もおります。新入生の皆さんにも、是非、こうした優れた先輩方に続くことができるよう、頑張ってくださいと思います。

その際には、高等専門学校が大学と同様の高等教育機関であることに留意して下さい。本校は大学教員と同等の力量を持つ教授陣が中心となり、それぞれの専門分野において高度で先進的な研究を進めながら、皆さんの自主的で自発的な学びを支援する場です。中学生の時までのように手取り足取り丁寧に教えてもらえるとは限りません。自分がどのような知識・技能を修得したいのか、すべきなのかについて、常日頃からよく考えるようにして下さい。そして、受け身の姿勢で教員からの指導を待つのではなく、明確な目的意識を持ち、自ら学んでいこうとする前向きな姿勢で学修に努めるよう心掛けてください。

また、工学分野の専門的な知識や技術だけでなく、人文科学、社会科学、自然科学などの基礎的な分野も疎かにはしないでください。社会に出てから求められる実践的な能力を獲得するためには欠かせない教養です。クラブ活動をはじめ、学校行事や学内外のコンテストなどにも積極的に参加するようにしていただきたいと思います。皆さんのような年頃の若者にとっては、課外活動において学年や学科の枠を超えて様々な教員や友人と交流したり切磋琢磨したりする経験は、生涯を通じた貴重な宝となるはずです。

最後に、皆さんの学生生活が、生き生きと楽しく、かつ実り多いものとなることを祈念いたしまして、皆さんの入学にあたっての式辞といたします。

令和三年四月五日

和歌山工業高等専門学校長 北風 幸一